

# 令和4年度 事業報告

## I. 事業運営目的

法人定款第1条の事業運営の目的である「利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを実現するため、各事業に取り組んだ。

## II. 主な実施事業

### 【ケアハウス巣子拠点区分】

#### 【第1種社会福祉事業】

#### ・軽費老人ホームケアハウス事業

事業目標に対しての評価

事業目標	事業方針	評価
入居者が安心して暮らせるようコミュニケーションを重視し、個々を尊重した支援を行います。	<p>① 入居者の健康管理や予防を図り、体調不良や異常の早期発見に努めます。</p> <p>② 定期的にコミュニケーションを図る機会を持ち、自主性や生活観を尊重し、個々のニーズに合わせたきめ細やかなサービス提供に努めます。</p> <p>③ 市町村及び、医療、福祉サービスの関係機関と密接な連携を図ります。</p>	<p>① 月に1回の健康チェックや各種訪問サービス事業所との情報共有により早期発見が出来、迅速に対応が出来ました。</p> <p>② コロナ禍でコミュニケーションが難しい状況がありましたが、個別の対応を心がけ、細やかな対応が出来ました。今後は、積極的に話しかけ、入居者様同士のコミュニケーションの機会も増やしていきながら環境の工夫を行っていきたいと思います。</p> <p>③ 地域ケア会議など積極的に顔の見える関係を構築できました。まだ制限が多くありましたので、次年度からは更にスムーズな連携となるよう工夫してまいります。</p>

#### (1) 入居者の確保への取り組み

入居者定員数20名の維持確保に取り組んだ結果、月平均20.0名の実績を得た。

入居者の推移（各月初め利用者数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
男	6	5	5	5	5	5	5	5	3	3	3	3	4.4
女	14	15	15	15	15	15	15	15	17	17	17	17	15.6
計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
内、入院者	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0.6

出身地別内訳（令和5年3月末現在）

計 20名 【県内】 盛岡市4人、滝沢市11人、花巻市1人、岩泉町1人、宮古市1人  
 【県外】 八戸市2人

## (2) 入居者の要支援・要介護の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
未認定	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	43	31.4
要支援1	80	31	60	62	62	66	93	76	62	62	56	62	64.3
要支援2	180	217	240	248	248	234	217	180	186	186	168	186	207.5
要介護1	215	235	180	186	186	180	186	194	217	217	196	195	198.9
要介護2	60	62	60	62	62	60	62	77	62	62	56	62	62.3
要介護3	30	31	30	31	31	30	31	30	62	62	56	62	40.5
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	595	607	600	620	620	600	620	587	620	620	560	610	604.9
平均介護度	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9

## (3) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居	1	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	6
退居	1	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	6
備考	(退居内訳)					(平均年齢)							
	死亡			0		1	84.3 歳						
	長期入院			0		0	※男女別	男	79.4 歳				
	他施設			2		2		女	85.7 歳				
	家庭復帰			1		0	(入居待機者)						
	その他			0		0							
	合計			3		3	2 人						

## (4) 提供サービス充実への取り組み

入居者様の日常生活における自立性を高め、集団生活内での社会参加を重視しながら以下の項目で支援を実施しました。

### ① 食事の提供

- アンケートを行い、嗜好や食事に関する意見、感想の収集に努めた。
- 行事やイベント後にアンケート実施し、同様の行事の参考にした。

### ② 入浴の準備

- 週5日の入浴準備、(火・日曜日を除く)
- 午後1時から3時半まで男性浴を女性専用浴に設定した。
- 冬期間は床暖房、脱衣所内の暖房管理を行った。

### ③ 緊急時の対応

- 入居者様の自室からのコールに職員が24時間対応。
- 随時、職員が病院等へ送迎。
- 緊急時の家族連携および他事業所との連携

### ④ 健康相談・各種生活相談

- 職員による毎月1回の体重測定、血圧測定、体調の相談
- 生活上の不安や悩み解消のため、職員による相談
- 自立支援のための相談および情報提供と他事業者等連携

### ⑤ 通院援助

- 近隣の医療機関への送迎(総人数588人、月平均49人)

### ⑥ 娯楽行事等の実施

- 毎週1回の小売店等へのショッピング(代行含む)
- 毎月のレクリエーション、行事などの開催

〔年間行事〕

実施月	行事名	内 容
7月	納涼会	当日は雨天の為、館内で開催致しました。利用者、入居者同士の接触を避けるため、タイムスケジュールを調整した為、待ち時間などなくスムーズに開催することができ、とても楽しいお祭りとなりました。
9月	敬老会	事業所ごとでの開催を致しました。事前に記念撮影を実施し、職場体験実習で高校生4名来設して一言頂戴しました。入居の皆様は久しぶりの子供たちとの交流に喜ばれている様子でした。
12月	クリスマス・忘年会	縮小しての開催となりました。職員の余興で「コント」を行いました。皆様笑って楽しんでくださっている様子でした。
1月	新年を祝う会	新年のご挨拶をさせて頂き、豪華な昼食に入居の皆様驚かれる方や喜ばれている方がおられました。刺身が大好評でした。

【その他の行事】

- 一般…ショッピング（週1回、但し新型コロナウイルス感染症流行時は代行）、誕生会（月1回）、懇談会（月1回）移動販売とくし丸（週1回）
- 介護付…ショッピング（月2回、但し新型コロナウイルス感染症流行時は代行）、誕生会（月1回）、懇談会（月1回）、音楽を楽しむ会（毎週水曜日の午前中に実施。コロナ感染拡大後、見合わせ）

（5）地域と交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	団体名	内 容
7月	南巣子保育園	園児たちが飾り付けをした七夕飾りを寄贈していただきました。ケアハウス内に飾り、入居者様に楽しんでいただきました。
	滝沢第二小学校	オンラインにて滝沢第二小学校4年生の児童と交流しました。交流後は児童からはがきと、折紙で作成した花束を頂きました。入居者様からお礼のお手紙をお返ししました。
8月	ジュニアリーダーボランティア	当初予定しておりましたが、コロナウイルス感染者が急増したため、事業自体が中止となりました。
9月	盛岡農業高等学校インターンシップ	盛岡農業高校人間科学科の生徒4名が来所され、長寿を祝う会に参加して下さいました。入居者の皆様も久しぶりに外部の方との交流に喜ばれている様子でした。
11月	巣子保育園	園児たちが防災啓発活動の一環で来所され、防災の心得やポスターを寄贈していただきました。
	滝沢第二中学校	学生が地域での資源回収の取り組みから図書カードを寄贈していただきました。お礼に入居者様が作った雑巾を寄贈しました。
	滝沢東小学校6年生	福祉のお仕事紹介ということで、高齢者について講演させて頂きました。
	盛岡農業高等学校 2年生	高齢者福祉の仕事についての説明と職種について講演させて頂きました。

12月	北日本医療福祉専門学校	介護実習で2名の学生が来設されました。在宅サービスについて一緒にレクやクリスマス会の装飾など関わって頂きました。
-----	-------------	--

## (6) 研修報告

### 施設内共通研修（ケアハウス、介護付、居宅、通所）

実施月	研修名	参加人数
5月	個人情報保護法と職業倫理、法令遵守	17名
	高齢者虐待防止・身体拘束について	14名
	食中毒について	15名
6月	腰痛予防について	9名
	転倒転落等の緊急時対応について	9名
8月	チームアプローチ	6名
9月	認知症について	12名
	科学的介護情報システム（LIFE）による科学的介護の推進について	7名
10月	接遇研修「互いに心地よい関係を作る為のコミュニケーション」	11名
11月	身体拘束・高齢者虐待防止委員会 内部研修	8名
12月	腰痛予防研修	3名
	介護施設におけるプライバシー保護について	3名
1月	感染症について	7名
2月	職場におけるハラスメント対策	11名

### 施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
7月	福祉サービスの苦情を考えるセミナー	岩手県福祉サービス運営適正化委員会	1名
	身寄りのない方への伴走方ソーシャルワーク	岩手県医療ソーシャルワーカー協会	1名
	リスクマネジメント研修「実践編」	岩手県社会福祉事業団	1名
9月	令和4年度 安全運転管理者講習	岩手県公安委員会	1名
	令和4年度 岩手県認知症介護実践者研修	いきいき岩手支援財団	1名
	令和4年度 虐待防止研修「応用編」	岩手県社会福祉事業団	1名
10月	危険物の保安管理	岩手県危険物安全協会連合会	1名
	相談援助におけるアセスメントを考える	滝沢市地域包括支援センター	1名
	OJT 職場で取り組む人材育成	岩手県社会福祉事業団人材マネジメント課	1名
12月	福祉サービス苦情解決情報交換会	岩手県福祉サービス運営適正化委員会	1名
	施設内外の人間関係のあり方とハラスメント課題	岩手県社会福祉協議会高齢者福祉協議会	3名
3月	令和4年度第4回定例研修会	岩手県介護支援専門員協会	1名

### 【事故報告】 2件

内容	第2、第4腰椎圧迫骨折
発症・詳細	令和5年1月7日、朝6時頃に本人様からコールあり、「トイレに向かおうとしたら転んだ」とお話あり、腰部痛の訴えあるためあべ整形外科を受診。第2、4腰椎圧迫骨折と診断を受け、鎮痛剤、湿布処方され安静の指示を受ける。徐々に痛みが軽減され、自力で起きあがり可能な状態まで回復される。（行政報告終了）
内容	右大腿骨転子部骨折

発症・詳細	令和5年1月12日、受診後、玄関にて靴を内履きに履き替えて外靴を取ろうと振り返った際に転倒。足の痺れやふらつきが出現しあべ整形受診するも異常なし。状態変わらず、内科的の可能性ある為、1月20日たかはし内科受診し検査するも異常なし。21日、22日とふらつき変わらず自室で何度か転倒されていたと23日報告あり。23日に痛みもあり立位困難となり、あべ整形受診すると右大腿骨転子部骨折と診断。盛岡市医療センターへ紹介となり、1月25日に入院となる。2月に手術し3月に退院となる。歩行器使用にて安定して歩行可能で痛みもない。(行政報告終了)
-------	---

## 【第2種社会福祉事業】

### ・松実会指定通所介護事業所

#### 【事業目標に対する評価】

事業目標	事業方針	評価
住み慣れた地域で生活が継続できるように、より身近にサービスを提供します。	<p>① 利用者様の在宅における自立と身体の機能維持を通所介護計画に基づいて目指していく。</p> <p>② 利用者様が安心してサービスが継続できるようにご家族、地域、関係機関と定期的運営推進会議を開催し、情報を共有しながら連携を図り、より地域性を構築していきます。</p> <p>③ 利用者様、ご家族に対し、サービスの提供方法等について、懇切丁寧に説明し同意を得る。</p> <p>④ 適切な感染予防対策を講じ、安心・安全なサービス提供を行う。</p>	<p>①通所介護計画に基づき、自立と身体機能維持に努めることができた。骨折等の重大事故が発生することなく、サービスを提供することができた。</p> <p>②定期的運営推進会議を今年は書類開催ではなく2回とも対面開催することができ、情報を共有したり、地域の意見等頂くことができた。</p> <p>③サービスの提供方法等について通所介護計画書等を通して、利用者様、家族様に対して説明し、同意を頂くことができた。</p> <p>④職員や利用者様、家族様のコロナウイルス感染があったが、事業所での発生はなくサービスを提供できた。</p>

#### (1) 通所介護目標への取り組み

目標利用者を1日平均10人に設定し活動しておりましたが、職員の新型コロナウイルス感染症罹患の影響により、令和4年度は営業中止日が6日ありました。また利用者家族様の罹患、濃厚接触者該当による休み等も影響し、昨年度に比べ利用者数が減少しています。空きがある際は希望利用者様にお声がけを行い利用につなげました。前年度と比べると0.2人減少の一日平均が8.5名となりました。

期中実績 期中実績 期中1日平均通所利用者人数 … 8.5人(前年度実績 8.7人/日)  
 期中1ヵ月平均通所利用者延人数 … 180.2人(前年度実績 187.5人/月)

利用状況 通所介護事業  
 サービス全体

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	20	18	22	21	23	22	21	22	21	20	20	23	21.1
要支援1	6	4	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1.5
要支援2	17	8	16	25	25	25	22	23	20	11	11	11	17.8
要介護1	60	52	72	66	62	64	65	51	55	49	52	56	58.8

要介護 2	64	64	69	56	66	69	70	85	77	80	88	89	72.9
要介護 3	13	14	17	18	18	18	14	15	18	17	14	24	16.7
要介護 4	11	11	13	13	13	14	12	12	13	11	12	14	12.4
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者実人数	27	24	25	26	24	25	25	26	25	25	24	26	25.2
利用者延人数	171	153	192	181	184	190	183	186	183	168	177	194	180.2
1日平均	8.6	8.5	8.7	8.6	8.0	8.6	8.7	8.5	8.7	8.4	8.9	8.4	8.5

## (2) 活動の基本方針

目標達成に向けて次の方針に基づき活動した。

- ① 介護サービスの提供に当たっては、懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者様、ご家族にサービスの提供方法等について理解を得られるよう説明を行う。
- ② ケアプランナーに対して利用者様の状況等情報を還元する。
- ③ 通所介護職員全員による接客対応の学習会を行い、介護技術等の向上を図る。
- ④ 地域内、近隣市町村の通所介護事業者及び居宅介護支援事業者との連絡、交流を緊密に図る。

### (年間行事)

開催月	行事名	行事内容
4月	行楽ドライブ (野外出訓練)	外出機能訓練の一環として、盛岡方面、県立大学へお花見をおこないました。満開の桜を観覧していただきました。
5月	春の大運動会	コロナ感染拡大防止の為、実施することができませんでした。
6月	山菜取り (野外出訓練)	職員の自宅農場に行き、わらび採りを行い、ご自分で収穫したわらびをお土産として持ち帰っていただきました。
7月	地域の方との情報交換会	運営推進会議を開催し、デイサービスの活動報告を行い、地域の方と情報交換を行いました。
	納涼会	イベントや屋台を通して夏祭りを楽しみました。また、職員の方の踊りを鑑賞していただきました。
9月	長寿を祝う会	職員の出し物を披露し、写真のプレゼントを行い、健康祈願と長寿のお祝いをしました。
10月	秋のドライブ (野外出訓練)	外出機能訓練の一環として、盛岡方面へドライブに出かけ、久々の外出、色鮮やかな紅葉の景色を楽しめました。
	秋の大運動会	様々な種目の競技をチーム戦でおこない、沢山体を動かし楽しみました。
12月	クリスマス忘年会	デイサービスで過ごした一年をスライドショーで振り返り、職員の余興をご覧になっていただきました。
2月	地域の方との情報交換	運営推進会議を開催し、デイサービスの活動報告を行い、地域の方と情報交換を行いました。
適宜	誕生会	誕生日月の利用者様に、メッセージカード、誕生日プレゼントをお贈りしお祝いしました。
	ショッピング (野外出訓練)	コロナ感染症流行の為、安全を考慮し、実施しておりません。

### 【その他の行事】

11月寿司の日、1月新年会、2月節分、3月ひな祭り

## (3) 地域と交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	団体名	内 容
11月	巣子保育園年少消防クラブ	防災ポスターをいただきました。

1月	巣子保育園担当者	みずき団子飾りをいただきました。
4～3月	巣子保育園	毎月のカレンダーを巣子保育園の園児さんよりいただきました。

#### (4) 研修報告

施設内研修

ケアハウス内部研修と同じ

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
7月	令和4年度第一回滝沢市地域ネットワーク会議	松実会地域包括支援センター	1名
9月	社会福祉コーチング	岩手県立大学社会福祉学部	1名
10月	相談援助におけるアセスメントを考える	岩手県立大学社会福祉学部	1名

### 【公益事業】

#### ・介護付ケアハウス巣子事業（特定施設入居者生活介護）

##### (1) 事業目標/方針評価

事業目標	事業方針	評価
特定施設サービス計画に基づき、利用者様各々の個別ニーズを把握し、その方らしくやすらぎのもてる安心した生活が維持できるよう支援致します。	<p>① 利用者様の意思を確認し、機能訓練を実施して残存機能の維持・向上に努めます。</p> <p>② 利用者様のニーズに寄り添った行事・レクリエーションを企画して、日常生活の中に楽しみ生きがいを持って頂けるように努めます。</p> <p>③ 関係市町村、他の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努めます。</p>	<p>① 外出支援も機能訓練として実施予定でしたが、難しい状況でした。個別の機能訓練は予定通り実施が出来ました。</p> <p>② 集団でのレクリエーション活動は制限がありましたが、唱歌などマスク着用にて楽しく活動できたので良かったです。クッキング活動は今後も継続していきたいと思います。</p> <p>③ 地域ケア会議等に積極的に参加することが出来ました。今後は、もっと連携が取れるようにし、入居者様の社会活動参加に向けた取り組みをしたいと思います。</p>

##### (2) 入居者の推移（各月初め平均利用者数）

入居者定員数（30名）

コロナ禍の為、県外の家族様とのやり取りに時間を要することがありましたが、待機の利用者様をスムーズに入居に向けて進めることができました。

入居者の推移（各月初め利用者数）介護付ケアハウス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
男	6	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	8.5
女	24	22	22	22	21	21	21	21	22	21	21	21	21.6
計	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
内、入院者	2	2	1	1	0	0	2	2	1	0	1	0	1.0

出身地別内訳（令和5年3月末現在）

計30人 【県内】盛岡市6人、滝沢市17人、八幡平市2人、宮古市3人、岩手町1人、一関市1人

### (3) 入居者の要支援・要介護の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要介護1	240	246	240	253	279	270	279	280	282	279	252	248	262.3
要介護2	459	438	420	434	434	420	434	360	372	372	336	372	404.3
要介護3	150	196	180	186	186	180	186	162	171	155	140	177	172.4
要介護4	50	31	60	48	31	30	31	60	62	93	84	71	54.3
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	30	31	31	28	31	12.6
計	899	911	900	921	930	900	930	892	918	930	840	930	905.8
平均介護度	2.0	2.0	2.1	2.0	2.0	2.0	2.0	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.1

### (4) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居計	1	2	0	1	0	0	0	2	1	0	0	1	8
退居計	1	2	0	1	0	0	0	2	1	0	0	1	8
備考	(退居内訳)					(平均年齢)							
	死亡			0		5	88.8歳						
	長期入院			1		1	※男女別	男	85.4歳				
	他施設			1		0		女	90.2歳				
	家庭復帰			0		0	(入所待機者)						
	その他			0		0							
	合計			2		6	6人						

### (5) 提供サービス充実への取り組み

- ① 介護サービス内容について、利用者満足度調査を早期に実施することで、サービス内容の見直しを図り、利用者様のニーズに添えるサービス内容を提供する事が出来ました。
- ② 事業から生じた剰余金は社会福祉事業へ18,500千円の繰り入れを行った。

### ・松実会指定居宅介護支援事業

#### 【事業目標に対しての評価】

事業目標	事業方針	評価
利用者、家族の在宅における生活意向を考慮したケアプランを作成する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 利用者に対し、個々の解決すべき課題、その心身の状況や置かれている環境等に応じて、保健・医療・福祉にわたる指定居宅サービス等が、多様なサービス提供主体により、総合的かつ効率的に提供されるよう努める。</li> <li>② 利用者や家族からの相談、依頼があった場合には、利用者自身の立場に立ち、住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、利用者や家族の意向をもとに地域資源も考慮したケアプランの原案を作成する。</li> <li>③ 本人及び家族自らの選択に基づき、適切な保健・医療・福祉サービス</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 目標を意識して、アセスメントの上、利用者・家族の意向を考慮したケアプランの作成を実施した。サービスの選択及び推薦に際しては、公正中立な立場での業務を実施し、医療との連携にも積極的に取り組むことが出来ました。</li> <li>② 地域包括ケアシステムを意識し、地域力を考慮したケアプランの作成に努めた。今後も社会資源把握に取り組みながら、地域との連携に努める必要があると思われました。</li> <li>③ 利用者本位、公正中立な立場での業務実施に努め、適切なサービスへ</li> </ol>

	が提供されるよう努め、利用者本位、公正中立な立場での業務を実施する。	のアプローチを実施しました。
ケアマネジメントの質の向上を図る。	<p>① 計画的に外部・内部の研修に参加し知識・技術の習得を行う。</p> <p>② 苦情・要望等には苦情窓口を設け事実確認、改善の検討を行い、ケアマネジメントの質の向上に努める。</p> <p>③ 主任ケアマネージャーは、当事業所だけでなく、地域のケアマネの人材育成に協力する。</p> <p>④ 24時間連絡体制を確保し、必要に応じて利用者、家族からの相談に対応する。</p>	<p>① 外部研修は、状況によりオンラインを活用し、出来る限り参加した。内部研修にも毎回参加し、知識・技術の向上に努めました。</p> <p>② 苦情があった場合は、速やかに対応するとともに、事業所内でも会議を持ち、改善策を検討しました。</p> <p>③ 主任ケアマネージャーは、事業所合同の勉強会主催に協力し、地域のケアマネに対する人材育成に取り組みました。</p> <p>④ 当番制で24時間連絡可能な携帯電話を受け持ち、必要に応じ相談に対応しました。</p>
市からの委託業務を行い、また地域包括支援センターと連携し、地域に貢献する事が出来る。	<p>① 滝沢市内在住の高齢者の心身状況や家庭環境について、潜在的な問題、ニーズ等を把握し、介護予防の対応に努める。</p> <p>② 介護相談を随時、受け「地域包括支援センター」との連携を図る。</p> <p>③ 認定調査や介護予防支援事業を行うとともに、順次移行する事業へ対応し、地域包括ケアシステムの構築へ貢献する。</p>	<p>① 地域の情報収集に努め、適時介護予防の対応に努めました。</p> <p>② 地域包括支援センターと連携し、適時同行訪問や情報交換等を行いました。</p> <p>③ 滝沢市や他の市町村からの委託依頼を受け、認定調査や支援事業を実施し、地域包括ケアシステムの構築に貢献しました。</p>

### (1) ケアプラン作成目標への取り組み

期中のケアプラン作成目標件数を1ヵ月 207 件に設定しこれに取り組んだが、職員の異動や退職、利用者の入院などが続き、さらに年度末の3ヶ月間に利用者の死亡や長期入所が相次いだため件数減となり、目標を達成できませんでした(月平均 199.9 件)。

### 利用状況 居宅介護支援事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
ケアプラン作成件数	206	205	204	203	203	204	200	204	204	199	182	185	199.9
新規	7	7	4	4	7	4	4	2	4	2	1	6	4.3
中止	4	5	2	0	5	4	2	2	2	3	4	1	2.8
終了	6	9	5	7	4	3	4	2	5	5	5	8	5.0
認定調査	7	9	11	5	7	9	7	1	10	1	0	0	5.6
平均介護度	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.9	1.7	1.7

### (2) ケアプラン作成の基本方針

ケアプラン作成に当たっては、「その利用者が可能な限り自宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮する」という基本方針に基づき、利用者及び家族の要望を尊重して作成しました。

### (3) 研修報告

施設内研修

ケアハウス内部研修と同じ

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
4月	地域ネットワーク会議	滝沢市地域包括支援センター	3名
6月	要介護認定調査員研修（オンライン）	岩手県保健福祉部長寿社会課	1名
	介護予防及びケアマネジメントに係わる研修	松実会地域包括支援センター	1名
	令和4年度 定例研修会「看取りケアマネジメント」「感染症をめぐる対応と介護保険をとりまく状況」「多職種連携」	岩手県介護支援専門員協議会	1名
	市内居宅共同研修会「軽介護者向けの福祉用具の紹介・説明」	滝沢市内居宅介護支援事業所	2名
7月	岩手県介護支援専門員研修（主任更新）	いきいき岩手支援財団	2名
	在宅生活を支える運動機能アセスメント	滝沢市地域包括支援センター	1名
	「警察・消防・民生委員の地域における役割」	松実会地域包括支援センター	1名
8月	介護労働者の勤務管理（オンライン）	介護労働安定センター	1名
	市内居宅共同研修会「高齢者の歯科事情と訪問歯科診療」	滝沢市内居宅介護支援事業所	3名
10月	在宅生活を支える医療と介護の現場から	滝沢市地域包括支援センター	1名
	「相談援助におけるアセスメントを考える」「透析利用者への支援・その社会資源について」	滝沢市地域包括支援センター	1名
11月	グループ施設勉強会「明日から使える糖尿病学講座」（オンライン）	ノボ ノルディスク ファーマ	1名
	歯科医の為に在宅医療人材育成研修会	八幡平歯科医師会	1名
	岩手県介護支援専門員研修（専門Ⅱ）	いきいき岩手支援財団	1名
	チームオレンジの活動について	滝沢市地域包括支援センター	1名
	「地域を知る（峯子地区）」「北部圏域の地域資源について」	松実会地域包括支援センター	1名
	第1回市内居宅介護支援事業所情報交換会「地域ケア会議について」	滝沢市地域包括支援センター	1名
1月	本人発信に必要な要素について	滝沢市地域包括支援センター	1名
2月	第2回市内居宅介護支援事業所情報交換会「介護支援専門員の育成支援」「地域課題」「介護支援専門員の資質向上」	滝沢市地域包括支援センター	1名
3月	自立支援に向けた疾患の理解「パーキンソン病の診断と治療」	滝沢市地域包括支援センター	1名
	「ケアプランデータ連携システム」「認知症ケア」「個人情報保護法とプライバシー保護」「職業倫理と法令順守」	株式会社サンメディカル	1名

【苦情】 なし

【事故報告】 なし

## 【特別養護老人ホーム麗峰苑拠点区分】

### 【第1種社会福祉事業】

#### ・特別養護老人ホーム麗峰苑事業

事業目標に対しての評価

事業目標	事業方針	実績・評価
利用者様一人ひとりの個性や生活リズムを尊重したケアを目指します。	① 利用者様の心の痛み、心の満足という感情に寄り添ったケアの実現を目指します。 ② 利用者様の出来る事・やりたい事を「24時間シート」に位置づけ、継続性を重視したサービスの提供に配慮する事を心がけ、実践する事で「望む暮らし」から「その人らしい生き方」の実現を目指します。 ③ 利用者様一人ひとりのニーズと意思を尊重し、残存機能の活用を図り自律的な生活の機会を得られるように努めます。 ④ 感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築します。	① 「やさしい施設」という基本理念のもと、職員一人ひとりが利用者様に寄り添ったケアに実践した ② 利用者様、個々のアセスメントの重要性を各部署が認識し、その人その人の望む暮らしの実現に向け取り組んだ ③ 個々のできることできないことを把握し、その方の持っている能力を最大限活かすよう努めた ④ 感染症のリスクを理解した上で、利用者様の生活の継続を共通目標とし取り組みを行った
地域福祉・地域活動に積極的に関わりを持ちます。	① 積極的に保育園・小学校・中学校・高校等の発表の場や体験の場を目指します。 ② 認知症カフェ実施の継続に生活リハビリを取り入れ、地域で暮らし続ける為のサポート体制としてのカフェを目指します。 ③ 八幡平市「介護支援ボランティアポイント事業」の促進を図り、地域住民の介護予防を支援します。	① 地域と連携しお互いが実りのある交流を図ることができた ② 新型コロナウイルス感染症の影響で認知症カフェを開催することができなかった ③ 新型コロナウイルス感染症の影響でボランティアポイント事業を行うことができなかった
職場の働きやすさと働き甲斐を追求した職場環境の確立を目指します。	① 職員研修の内容の充実とキャリアパス体制の実践を図り、介護プリセプター制度導入により、職員の離職防止に努めます。 ② 職業性ストレスチェック制度の実施を図り、高ストレス者の産業医面談の実施を図るなどし、職員が安心して働ける施設環境に努めます。 ③ 介護ロボット導入により、充実した活用の実施を図り職員の不安	① 計画的な職員研修及び新人職員へのフォローも充実した実践をすることができた ② 職員へ周知することで、ストレスチェック制度の意義と職員個々が働きやすさを感じるようになるよう実践した ③ 令和4年度の介護ロボット事業について WIFI 設置の検討は行っ

	やストレスの軽減を図ります。 ④ 働き方改革による、年次休暇について職員の理解と協力の下、公平・確実に取得の実施を図ります。	たものの、予算上の都合により見送った ④ 安全衛生委員会で働き方改革の内容を周知し、働きやすい職場の取り組みを行った
--	---	---

### (1) 入居者の確保への取り組み

入居者定員数（60名）の維持確保に取り組んだ結果、月平均 59.6 名の実績を得た。

入居者の推移（各月初め入居者数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
男	17	17	17	16	15	14	13	13	13	14	14	14	14.7
女	43	43	43	42	45	46	47	46	46	46	46	46	44.9
計	60	60	60	58	60	60	60	59	59	60	60	60	59.6
内、入院者	1.6	1.8	4.3	5.3	1.6	1.8	2.8	5.1	4.4	4.4	4.4	2.7	3.4

出身地別内訳（令和 5 年 3 月末現在）

計 60 人 盛岡市 4 人、岩手町 10 人、八幡平市 37 人、滝沢市 6 人、二戸市 1 人、一戸町 1 人  
紫波町 1 名

### (2) 入居者の要介護の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要介護 3	270	279	240	248	257	249	279	240	217	217	196	217	242.4
要介護 4	990	1023	1020	1023	1037	1020	992	990	1023	1054	980	1116	1022.3
要介護 5	540	558	540	527	527	510	589	540	589	589	504	527	545.0
計	1800	1860	1800	1798	1821	1779	1860	1770	1829	1860	1680	1860	1809.8
平均介護度	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2

### (3) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居計	1	0	0	2	4	1	2	2	1	1	2	1	16
退居計	1	0	0	4	2	1	1	3	1	0	2	1	16
備考	(退居内訳)					(平均年齢)							
	死亡			1	2	86.9 歳							
	長期入院			2	7	※男女別	男	85.3 歳					
	他施設			1	1		女	88.6 歳					
	家庭復帰			0	2	(入居待機者)							
	その他			0	0	21 人							
	合計			4	12								

### (4) 提供サービス充実への取り組み

施設理念に基づいて「やさしい施設を目指して」を念頭に利用者様が「安全」かつ「安心」した生活を送ることを第一に考えた取り組みを通して、職員に何が求められているのか、何を提供すべきかを職員個々が考え行動してきた。具体的な取り組み重点項目として、①利用者様が「安全」かつ「安心」して楽しく過ごせる環境づくり、②職員の質の向上、③個別ケアの取り組み、④地域・ボランティアとの関係、関わりの強化、⑤利用率の向上、以上 5 つの取り組みを重点的に行った。概ね実践できた中で、新型コロナウイルスに伴い、地域及びボランティアと関わりに関しては、ほぼできない状況であった。新型コロナウイルスに関しては、令和 5 年度も引き続き、十分な感染対策を講じ、利用者様が安心できる暮らしの提供に努めるよう心掛けていく。

## (年間行事)

実施月	行事名	内 容
4月	生け花教室	季節のお花をいけることで季節感を味わっていただく
5月	農園開園式	秋の収穫祭に向け、利用者様とともにナスやキュウリ、トマト等の種をまく
6月	クッキングクラブ	焼肉や天ぷら等、利用者様の食べたいものを提供し、食に対する楽しみを感じていただく
10月	農園芋ほり	利用者様と一緒に苑外の農園に春先、植えた芋を収穫する
	生け花教室	利用者様に生け花を通じてやりがいを感じていただく
11月	秋の食事会	農園で収穫した野菜を使用した昼食を提供し、季節を感じていただく
12月	年賀状作り	利用者様本人がご家族に出す年賀状を作成する
	クリスマス大忘年会	ユニットごとにクリスマスケーキを囲み、一年を振り返る
1月	みずき団子作り	みずき団子を作成し、参加者全員で記念撮影を行う
	新年交賀会	職員が各ユニットを獅子舞に扮して邪気を払い、無病息災を祈りその後、和菓子で新年をお祝いする
2月	節分行事	鬼に扮した職員に落花生をぶつけて、邪気払う

\*8月及び9月の行事は、施設内で新型コロナウイルスの集団感染発生に伴い中止とする  
(ユニット行事) ※誕生会は当該月日に実施している。

## (5) 地域と交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	団体名	内 容
4月	平館高・西根一中・平館小入学式	新型コロナウイルス感染対策に為、出席中止
5月	ふれあい看護体験	参加希望者1名(新型コロナウイルス感染対策に為、受け入れ中止)
6月	平館高校運営協議会	学校運営状況の報告及び今後における学校運営の検討
7月	生け花教室	季節のお花をいけることで季節感を味わっていただく
	たんぼぼ縁日	コロナ感染対策の為、夏祭りの中止に伴い、施設内で縁日を開催し、ゲームや屋台を楽しんでいただく
9月	平館高校 第二回学校運営協議会	平館高校の志願者増に向けての取り組みの話し合い
10月	平館小学校来苑(10名)	職業体験・防災対策に関する質問を受け、施設での取り組みを説明する
11月	八幡平市シルバーリハビリ講習会	八幡平市民におけるリハビリ講座の連携会議
12月	八幡平市地域ケア会議	八幡平市におけるネットワーク確認会議
2月	平館高校 「総合的な探求の時間」講演会	出前講座「福祉の授業」
3月	八幡平市認知症初期集中支援チーム検討委員会	令和4年度活動報告及び実績報告令和5年度高齢者福祉計画案
	八幡平市成年後見人ネットワーク連絡会議	令和4年度活動報告及び実績報告令和5年度八幡平市成年後見人活動計画

## (6) 研修報告

### 施設内研修

実施月	研修名	参加人数
4月	倫理・プライバシー・法令遵守	42
5月	腰痛予防研修	50
6月	医療的ケア研修会	23
8月	新人職員採用時研修	1
8月	高齢者の特徴「尿路感染症」について	40
9月	新人職員フォローアップ研修	1
10月	介護職の為の認知症ケア	40
11月	介護現場と緊急事態対応	40
	ノロウイルスによる食中毒・感染性胃腸炎	46
1月	職員採用時研修	1
	利用者様が求める支援の視点	8
2月	医療的ケア及び喀痰吸引実技研修	20
	認知症ケア	40
	身体拘束・高齢者虐待研修	45
3月	看取りで得られること	40

### 施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
5月	LIFE 研修 (WEB)	システムエイド(株)	3
	床ずれ研修 (WEB)	パラマウントベッド(株)	1
	介護ボランティアポイント研修	八幡平市包括支援センター	2
6月	接遇マナー研修	岩手労働安定センター	1
	施設相談員研修	松誠会・松実会合同	1
	緩和ケア勉強会	岩手県看護協会	1
7月	福祉サービスの苦情を考える	岩手県福祉サービス運営適正化委員会	1
	認知症ケア	認知症介護研修センター	1
	QOL を高める口腔ケア	介護労働安定センター	1
8月	介護労働者雇用管理責任者講習	介護労働安定センター	1
9月	介護支援専門員更新研修	岩手県いきいき支援財団	1
	育児介護休業法	岩手労働局	1
10月	認知症介護実践者リーダー研修	岩手県いきいき支援財団	1
	メンター制度	介護労働安定センター	1
	福祉サービス苦情解決情報交換会	岩手県サービス適正化委員会	1
	生命を看取る介護ケア	介護労働安定センター	2
	障がい者雇用いろいろ相談会	岩手県障がい者職業センター	1
	医療的ケア実践者研修	岩手県社会福祉協議会	2
	法人後見交換会	八幡平市役所	1
11月	ケアマネ更新研修	岩手県いきいき支援財団	1
	シルバーリハビリ体操講習会	八幡平市地域包括支援センター	1
	八幡平市民講座	八幡平市地域包括支援センター	1
	緊急時の介護観察ポイント	岩手県いきいき支援財団	1

	不適切ケアの取り組み	介護労働安定センター	1
12月	岩手ユニットケア研究会	ユニットケア研究会	3
	個人防護衣（PPE）着脱講習会	岩手県央保健所	2
2月	身体拘束と介護事故リスク	介護労働安定センター	1
3月	岩手県介護支援専門員定例研修会	岩手県介護支援専門員協会	1

【苦 情】 なし

【身体拘束】 なし

【事故報告】

内容	左膝上部の大腿部骨折
発症・詳細	<p>発生日：令和4年9月15日</p> <p>内 容：7時30分頃「喉が渴いたので飲み物が欲しい。」と訴えあり。窓際を外を向いて車椅子に起きていただき床頭台の前でお茶を飲んで頂く。職員退室後、8時5分頃、居室よりドンと音がした為訪室すると車椅子から床に落ちて横たわっている。左眉尻から出血あり、左足に痛みあり。職員2人介助でベッドに移乗し全身確認する。左膝と骨盤辺りに痛みの訴えあり。左膝に腫れあり。本人に聞くと「窓に手が届くかと思った。」と話している。看護師に連絡し、左眉尻はステリー処置、左膝の腫れには湿布添付する。12:00左膝の腫れがひどくなったため、保健所と八幡平市立病院と相談し、14:00受診する。レントゲンの結果、「左膝上部の大腿部骨折」との診断。対象利用者はコロナ陽性者である為、入院はできないとのことで、左足をコルセット固定し、施設へ戻る。その他：家族様からは、「居室で過ごすことが多くなると思うが、状態を観察しながらお願いしたい」とのこと。対象利用者のユニットで9/11よりコロナの集団発生が見られ、9/11～9/27まで利用者様は居室隔離の措置を講じていた。また、今回の受診に関してはコロナ陽性者であったため、全て岩手県央保健所主導での対応となった。）</p>

## 【第2種社会福祉事業】

### ・麗峰苑指定短期入所生活介護事業

【事業目標に対する評価】

事業目標	事業方針	評価
在宅生活継続と自立の支援	<p>① 利用者様の在宅生活を尊重し、自宅での自立した生活が無理なく継続出来るように支援を行う。</p> <p>② 在宅における介護者の介護力の維持を図るよう連携していく。</p>	<p>① 介護者であるご家族や担当ケアマネジャーと連携し、在宅生活継続も統一目標とし取り組むことができた</p> <p>② 施設に専門職が在籍する強みを生かし、ご家族の相談にも積極的に対応することができた</p>
他者との交流にて楽しみを見出すことができるような支援	他の利用者様との触れ合いの中で、新たな趣味活動等を行うことにより、明日への楽しみを見出すことができる支援を行う。	ショートステイでしか味わうことのできない体験や、日頃から行っている趣味活動も生かして頂きながら、充実したサービスを提供することができた

### (1) 短期入所事業の目標への取り組み

- ・入院で空いた居室を利用して短期入所を受け入れた結果、月平均 57.0 床の実績を得た。  
(1 年間の空きベッド総計 1,242 床に対し空床利用 584 床)

### (2) 短期入所者の利用状況

利用状況 麗峰苑 短期(空床型)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
入院日数	49	55	130	166	98	75	86	105	137	136	122	83	1242	103.5
短期日数	39	37	97	89	19	9	27	26	90	75	104	72	584	57.0
差数	10	18	33	77	79	66	59	79	47	61	18	11	558	46.5

### (3) 提供サービス充実への取り組み

空床利用のため、居室の調整が難しい中、地域の介護支援専門員や病院、老人保健施設等と日頃から、ネットワークを構築すべき活動を行ってきた。地域にはショートステイ利用の需要も多いため、居室が空き次第、速やかな調整を図り、必要な方への早急な支援を心がけた。利用された方及びそのご家族からも、サービスについて満足される声を多数いただき、空床になるたびに、何度も利用される利用者様も増えてきている。また、サービス調整を行う介護支援専門員からも好評を得ている。地域にショートステイサービスが不足している為、地域の一員として、空床利用ではあるが、引き続き地域に開かれたサービス展開を行っていく。

## 【公益事業】

### ・麗峰苑指定居宅介護支援事業

【事業目標に対しての評価】

事業目標	事業方針	評価
利用者や家族の在宅生活の支援に努めます。	① 利用者と家族との面談を通して、課題の把握とサービスの支援を適切に行う。 ② サービス提供事業所と情報を共有し、利用者の自立支援と介護者の介護負担の軽減を図れるように努める。	① 利用者様やご家族のニーズについてモニタリング、再アセスメントを行い状態の把握に努めた ② サービス事業所とは顔の見える関係作りを軸とし、日頃から連絡連携を密に行い、情報共有の徹底に努めた
医療との連絡・連携に努めます。	① 在宅生活を継続できるよう、かかりつけ医との情報交換を行う。 ② 入院時、病院等への訪問や電話連絡にて必要な情報を提供する。 ③ 退院時、病院等に訪問し、カンファレンス等で必要な情報を収集し、在宅生活に戻ることができるようサービス調整等を行う。	① 緊急を要する場合は、医師との連携することができた ② 新型コロナの影響で、実際立ち入りでの医療連携が困難であった ③ WEB 医療介護「mell+」導入で、医療と介護の連携がスピーディーであり、医療連携においても有効活用している

介護支援専門員の質の向上に努めます。	① 高齢者支援全般に関する内外的な研修に参加し、相談支援できる知識の取得に努める。 ② 地域ケア会議に参加し、地域の困難事例の把握に努めるとともに、自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める。	① 法令遵守及びプライバシー保護の重要性を再認識し、日々の業務を都度確認しながら行っている ② 介護保険外においても多方面に知識を養い、多様な課題を抱えるケース支援に積極的に関わることができた
--------------------	--	---

### (1) ケアプラン作成目標への取り組み

令和4年度のケアプラン作成目標件数を1ヵ月平均33.8件に設定し、これに取り組んだ結果、1ヵ月平均33.9件の実績となった。

利用状況 居宅介護支援事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
ケアプラン作成件数	34	35	31	33	34	34	33	34	33	36	35	35	33.9
新規	2	2	0	0	1	1	0	1	0	3	0	1	0.9
中止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
終了	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0.6
認定調査	2	1	0	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1.2
平均介護度	2.1	2.2	2	2.1	2.2	2.2	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.2

### (2) ケアプラン作成の基本方針

ケアプラン作成に当たっては、「その利用者様が可能な限り自宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮する」という基本方針に基づきながら、「自己決定」「利用者様本位」を最優先し、利用者様及び家族様の要望を尊重して作成した。

### (3) 委託業務

- 介護予防支援業務委託（八幡平市地域包括支援センター） 平均9.0件/月
- 要介護認定調査（盛岡市）2件/年（北部行政事務組合）12件/年

### (4) 研修報告

施設内研修

実施月	研修名	参加人数
4月	コンプライアンスと職業倫理・倫理的価値観・プライバシー保護	1

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
12月	高齢者の交通安全、特殊被害防止	八幡平市地域包括支援センター	1
3月	介護のみらいシンポジウム研修会	(株)サンメディカル	1

## 【特別養護老人ホーム繋松苑拠点区分】

### 【第1種社会福祉事業】

#### ・特別養護老人ホーム繋松苑事業

##### 【事業目標に対しての評価】

事業目標	事業方針	評価
「サービスの質の向上」に向け、多職種連携を図る	① 自立支援に向けた取り組みを実施するため、個別の情報把握に努め、多職種連携を図る。 ② 入居者が自己決定・自己選択できる環境を作り、主体的な暮らしが継続できるようにチームケアを推進する。 ③ サービスの質の向上の為、入居者様及びご家族様へ向けた「サービス満足度アンケート」を実施しニーズ把握に努める。	① 生活相談員と介護支援専門員を中心に情報把握に努め、多職種で連携し適切なサービス提供につなげることができた。 ② 福祉機器なども含めた環境整備に努めたことで、自己選択の幅が拡がり施設での生活が継続できた。 ③ 面会規制中のため、ご家族へのアンケートは居室環境やケアサービスなどを排除した内容で実施。職員の電話対応など評価いただいた。
地域の福祉の拠点となるよう、地域貢献活動に積極的にかかわる	① 地域の方々の集いの場となるように展望室等の環境を整える。 ② 家族会と施設で連携し、地域福祉の推進及び施設の活性化を目指す。 ③ 地域ニーズを把握するために地域サロンや地域ケア会議へ参加し、地域福祉の貢献に努める。	・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、施設への受け入れ、家族会との連携、地域貢献活動すべてにおいて積極的に活動することができなかった。
労働安全衛生に努め、「安心・安全な職場環境」の維持・向上に努める	① 安全衛生委員会を中心に、職員のメンタルサポート体制の充実を図る。また、セルフケア・ラインケアの研修と体制の構築に向けた取り組みを行う。 ② 安全衛生対策として腰痛体操・転倒予防体操の実施や体のしくみの研修会を行い、職員自ら継続した予防の取組が行えるように啓発活動を行う。 ③ 健康診断等を通し、自分自身の健康管理の意識向上に努める。また、がん検診への啓蒙活動を行う。 ④ 補助金・助成金等を活用し、感染対策とデジタル化を進め職員が働きやすいように環境を整える。	① ストレスチェックの集団分析結果を安全衛生委員会で確認するなど、メンタルヘルス対策推進体制づくりまでは構築できているが、職場環境の改善等を含めた体制整備まで図ることができなかった。 ② 安全衛生委員会を中心に腰痛予防・転倒予防対策とし毎日の体操やポスター掲示等に取り組んだ。転倒・腰痛で労災認定されたケースはあるが、今後も継続して取り組んでいきたい。 ③ 健康診断で有所見となった職員には、再検査を促すなど健康改善を促すよう努めた。 ④ 補助金を活用し、感染対策としてゾーニングに必要な物品の設置、購入を行った。

### (1) 入居者の確保への取り組み

入居者定員数（90名）の維持確保に取り組んだ結果、月平均89.6名の実績を得た。

入居者の推移（各月初め入居者数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
男	22	21	21	21	20	21	20	20	20	18	20	20	20.3
女	68	69	69	69	70	69	70	70	70	69	69	70	69.3
計	90	90	90	90	90	90	90	90	90	87	89	90	89.6
内、入院者	2	5	5	7	3	2	1	4	3	6	4	6	4.0

出身地別内訳（令和5年3月末現在）

計89人 盛岡市46人、滝沢市26人

、雫石町7人、釜石市2人、宮古市2人、岩手町1人

一関市1人、奥州市1人、遠野市1人、紫波町1名、九戸村1名

### (2) 入居者の要介護の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要介護2	0	0	0	0	0	30	31	30	31	31	28	31	17.7
要介護3	339	341	300	310	310	300	310	330	341	381	393	465	343.3
要介護4	1404	1441	1440	1546	1570	1530	1575	1435	1354	1,306	1,194	1,336	1427.6
要介護5	934	1008	937	931	903	839	868	877	1022	991	893	960	930.3
計	2677	2790	2677	2787	2787	2699	2784	2672	2748	2,709	2,508	2,792	2718.8
平均介護度	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2

### (3) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居計	3	2	1	3	1	1	1	2	1	5	3	4	27
退居計	3	2	2	2	1	1	1	2	4	3	3	4	28
備考	(退居内訳)					(平均年齢)							
	死亡			2	12			87.3歳					
	長期入院			4	9			※男女別		男	85.8歳		
	他施設			1						女	90.4歳		
	家庭復帰							(入居待機者)					
	その他							5人					
	合計			7	21								

### (4) 提供サービス充実への取り組み

施設理念を念頭に、ご入居者の日常生活の自立に向けたサービス計画を作成し、ご入居者の安心と満足度の充実を目指し多職種で連携し以下の支援に努めた。

#### ① 食事サービス

○管理栄養士による管理の下、適時、適温、季節感を味わえる食事を提供できた。行事食やおやつは一手間加えることで概ね好評だった。

#### ② 入浴サービス

○3階フロアにシャワーバスが設置されたことで、フロア毎での入浴が可能となり業務の効率化にもつながった。

#### ③ 生活支援サービス

○生活の質の向上と自立支援を意識し、可能な限り自己決定していただけるよう、個々の状況に

じた福祉機器を用意しサービス計画に沿いながら支援することが出来た。

④ 緊急時の対応

○協力病院と連携し緊急時に対応できる体制整備は出来ているが、医療ニーズを必要とする方が増えている。可能な限り施設で見てほしいというニーズに対しての対応が課題として残った。

⑤ 各種生活相談

○健康相談や日常生活などに関する相談には、嘱託医も含めた多職種で対応できる体制を整えることができた。

⑥ 娯楽行事等の実施

○新型コロナの影響で計画通り行えなかったり、行事自体を中止せざるを得なかったりしたケースもあったが、感染対策に努めながら可能な範囲で実施できた。

(年間行事)

施設行事(全体)

実施月	行事名	内 容
4月	お花見ドライブ(全体)	近隣の桜を鑑賞しに車で出かけ、四季を感じていただき、気分転換を図ることができた。
6月	ドライブ(ユニット行事)	松ぼっくりにてアイスを購入。車内喫食。
	ドライブ(ユニット行事)	雫石のあじさいロードをドライブし気分転換を図った。
7月	100歳お祝い行事(個人)	百歳を迎えられた入居者様のお祝いをする。ご家族と市役所の方をお招きして記念品の贈呈等を行う。
8月	夏祭り(全体)	コロナ対策の制限をやや解除しようと企画していたが、8月に入り感染者も増えてきた為、制限をかけてユニットごとでの開催とする。ユニットごとでのスイカ割や苑内放送を使用して行った家族会抽選会など楽しんでいただいた。
9月	長寿を祝う会(全体)	入居者様全体には、昼食にお弁当やおやつプリンを提供し召しあがって頂いた。年祝い者を中心に前日の写真撮影や当日の式典参加と和やかに行う事ができた。
10月	芸術祭	入居者様やユニット、職員個人の作品などを展示。感染対策にて短期と長期の観覧時間をずらし手指消毒の徹底を実施しながら開催できた。展示期間は中旬から下旬にかけての2週間展示。
	書道教室「志」	芸術祭に向けた作品作り
11月	ユニット行事(さくらユニット)	感染対策にて他ユニットとの交流が出来ない中、スポーツ(レクリエーション)を通して気分転換を図った。
12月	クリスマス大忘年会	コロナ感染拡大防止にて各ユニットでの行事開催となった。おはよー調剤様からのご厚意でケーキの提供やカラオケ大会などユニットごとで楽しい時間を過ごせた。
2月	雪祭り	中庭に雪像を作ることができなかつたため、例年と比べ物足りなさはあったが、その分イルミネーションや装飾に工夫を凝らし喜んでいただくことができた。
	節分(豆まき)	季節感を感じていただけるようユニットごとに趣向を凝らし、楽しんでいただけた。

【人材育成協力】

8月18日～9月21日まで北日本医療福祉専門学校学生2名の介護実習(実習段階Ⅱ-2)受け入れを行う。

9月5日～9月16日まで盛岡大学栄養科学科学生2名の給食経営管理実習受け入れを行う。

### (5) 地域と交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	団体名	内 容
6月	つなぎ地区清掃活動	早朝ゴミ拾い
8月	つなぎ地区清掃活動	早朝ゴミ拾い
10月	つなぎ地区清掃活動	早朝ゴミ拾い
12月	白石パン	クリスマスケーキ贈呈

### (6) 研修報告

施設内研修

実施月	研修名	参加人数
4月	(1日、2日) 新入オリエンテーション	3
	(19日) 介護職員内部研修(リーダー)	8
5月	(30日) 介護職員研修(サブリーダー) ※資料提供での開催	10
6月	(27日) 介護職員研修(1)	8
	(28日) モルテン主催オンライン研修(褥瘡について)	4
	(29日) 感染委員会内部研修(ガウンテクニック) ※新人対象	3
7月	(22日) 痰吸引・口腔ケア委員会内部研修(新人対象)	1
	(26日) 介護職員内部研修(2)	8
8月	(29日) 介護職員研修(3)	8
9月	(30日) 拘束廃止・高齢者虐待防止委員会内部研修	11
	(14日) 新人フォローアップ研修	2
	(26日) 介護職員内部研修(パート)	4
10月	(25日) 介護職員内部研修(リーダー)	8
11月	(28日) 感染防止委員会SDS(外部講師)「褥瘡を予防するために」	24
	(28日) 介護職員研修(サブリーダー)	10
12月	(19日) 介護職員内部研修(1) 感染対策にて課題提出	8
	(26日) 痰吸引・胃瘻対策委員会SDS研修(動画視聴)	48
1月	介護職員内部研修(2) 課題提出	13
	拘束廃止・権利擁護推進委員会 SDS 研修(動画視聴)	6
2月	介護職員内部研修(3)	6
	排泄委員会 SDS 研修	7
3月	介護職員内部研修(パート)	3
	新人職員フォローアップ研修	1
	事故対策委員会 SDS 研修	10

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
5・6月	岩手県介護支援専門員専門研修過程Ⅰ	(公財) いきいき岩手支援財団	1
6月	虐待防止研修会(基礎編)	(福) 岩手県社会福祉事業団	1
8月	地域ケア会議(わちゃわちゃ会議)	盛岡市長寿社会課	1
9月	認知症介護実践者研修	(公財) いきいき岩手支援財団	1
10月	社会福祉従事者リーダー研修	岩手県社会福祉協議会	1
	虐待防止研修(応用編)(オンライン)	岩手県社会福祉事業団	1
	認知症介護実践者研修	(公財) いきいき岩手支援財団	1
	メンタルヘルス研修(オンライン)	岩手県社会福祉事業団	1
11月	認知症介護実践者研修	(公財) いきいき岩手支援財団	1
1月	介護職種の技能実習指導員講習	岩手県介護福祉士会	1
	甲種防火管理新規講習	盛岡地区広域消防組合	1
2月	災害ボランティア研修	岩手県介護福祉士会	1
	高齢者施設等給食従事者研修	盛岡市保健所	1

【身体拘束】 なし

【事故報告】

内容	骨折(左橈骨)事故
発症・詳細	<p>7月12日19時50分 居室から「助けてください」と声が聞こえ訪室する。「手が腫れた」と話、確認すると左手首に若干の腫れが確認される。本人は「左手を挟んだが、場所は忘れた」と話す。看護師に指示を仰ぎ、夜間は対応する。翌日、滝沢中央病院受診し、左橈骨遠位端骨折と診断される。</p> <p>受診前(腫れを確認した時点)と受診後にご家族へ連絡。受診中に本人が「部屋で転んだ。職員には黙っていた」と話、受診後に診断名とあわせ今後の対応等についても説明し謝罪する。ご家族からは「一人で歩くので仕方ないです。迷惑を掛けます」と話される。</p>

## 【第2種社会福祉事業】

### ・ 繫松苑指定短期入所生活介護事業

#### (1) 短期入所事業の目標への取り組み

定員 10 名に対し目標利用者を一日平均 10 名に設定し活動した結果平均 8 名/日の実績を得ました。

#### (2) 短期入所者の利用状況

利用状況 繫松苑 短期

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要支援 2	6	7	6	3	12	7	14	9	6	4	14	25	9.4
要介護 1	51	35	31	34	40	25	48	57	32	44	40	32	39.1
要介護 2	100	109	84	93	88	71	103	104	61	81	93	83	89.2
要介護 3	32	43	57	60	49	37	46	41	41	37	48	64	46.3
要介護 4	27	28	27	38	38	23	26	23	27	28	29	27	28.4
要介護 5	35	41	40	46	38	41	35	41	29	17	20	22	33.8
計	251	263	245	274	265	204	272	275	196	211	244	253	246.1
平均介護度	2.4	2.6	2.7	2.9	2.8	2.8	2.6	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	2.7

入院の状況 ((空床利用) 短期入所生活介護)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
入院日数	99	146	176	168	104	54	61	108	206	162	116	140	128.3
短期利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和 4 年度 累計実人数 418 人/年、累計延べ人数 2953 人/年

#### (3) 提供サービス充実への取り組み

事業目標	事業方針	評価
在宅生活継続と自立の支援	① 利用者様の在宅生活を尊重し、自宅での自立した生活が無理なく継続出来るように支援を行う。 ② 在宅における介護者の介護力の維持を図るよう連携していく。	① 利用される都度、自宅での様子や体調などを聞き取り、無理なくサービス利用に繋げることができた。 ② 利用中の様子などについて、ご家族や居宅介護支援専門員に情報提供し、自宅での生活が継続できるよう支援できた。
他者との交流にて楽しみを見出すことができるような支援	他の利用者様との触れ合いの中で、新たな趣味活動等を行うことにより、明日への楽しみを見出すことができる支援を行う。	毎日の日課で行う体操やレクリエーションなどを通して、他者と交流を持ち、また利用してみたいと思うような支援ができた。

(年間行事)

開催月	行 事	内 容
7 月	御所湖花火大会鑑賞会	午後から、ユニット内でくじ引きやおやつなどを楽しみ、打ち上げ時間は外に出て

		目の前に上がる花火を楽しんだ。
10月	おやつ作り	皆で協力しながら、サツマイモを使ったおやつ作りを行った。
12～1月	おやつ作り	リビングでわらび餅やアイス、甘酒を作り皆で楽しんだ。

#### 【事故報告】

内容	誤薬事故
発症・詳細	<p>8月23日8時20分 他の利用者の朝食後薬を内服させた後に本人の内服薬も飲ませてしまった。当日は帰宅日だったが、昼食前に嘔吐、血圧低下したため（内服介助した職員は二重に内服させたことを言い出せず）、他の職員は体調不良したものだと考え、ご家族に電話連絡し送迎予定時間よりも前に自宅に帰ってしまった。</p> <p>翌日、出勤した職員（内服介助した職員）から報告を受けた直後に、管理者からご家族へ電話し体調を崩した原因（二重内服）を説明し謝罪する。「内服した薬品や事故概要等を主治医に伝えてほしい」との要望があり、主治医への情報提供を行った後、管理者と生活相談員で自宅を訪問し謝罪する。ご家族からは、「今後は他の事業所のサービスを使うことも考えたが、本人が気に入っているので今後も使おうと思います」と話される。</p>

#### 【苦情】

苦情内容	8月23日 担当CMを通じて、ご家族から自宅に訪問した職員に対し①初めて会う職員なのに名刺も出さず挨拶もない②玄関先で排泄のこと等プライバシーにかかわる話をされ迷惑だった③職員の話の内容などから、利用者が迷惑をかけているのでサービスを利用してほしくないように感じた。という連絡をいただく。
処理対応	生活相談員からご家族へ連絡し上記の苦情に対し事実確認を行う。今後の対応として①訪問時はネームプレートを提示し挨拶する。②利用中の様子を伝える際は場所を選ぶ。③事業所としてサービス提供に問題ないことを伝え、職員の態度などで不快な思いをさせたことについて改めて謝罪する。ご家族からは、「職員からの謝罪は求めないが、基本的な挨拶はしっかりしてほしい。ご近所の目もあるためプライバシーに配慮してほしい」と要望をいただく。事業所会議で情報共有と接遇マナー等を再確認し、再発防止策を周知した。
苦情概要	10月20日 サービス利用中の利用者様から①特定の職員の口調がきつく不快に感じている。②居室を移動したが掃除されてなかった。③帰宅した後に、衣類がたたまれない状態でカバンに入っていることが、これまでに何度かあった。という内容の苦情があった。
処理対応	①について管理者が職員に事実確認する。職員本人に「口調がきつい」という自覚はなかったが、今後気をつけるよう注意し、管理者・職員本人から謝罪する。②③については今後同様の事が起こらないよう、個々の職員が責任を持ち対応するようユニット会議で確認し、利用者様本人にその旨を説明・謝罪する。

## 【松実会複合型福祉施設拠点】

### 【第2種社会福祉事業】

#### ・小規模多機能型居宅介護事業所「おはな」事業

##### 【事業目標に対しての評価】

事業目標	事業方針	評価
小規模多機能型居宅介護事業所おはなをご利用されるすべての方々が、安心して過ごせる時間と空間を大切に考え、個々に生きがいを持ち、いきいきと笑顔で生活を送れるように家庭的で温かみのある介護・福祉サービスの提供に努める。	「地域と歩み・地域で育み・地域に生きる。思いやりと謙虚な心を常に持ち、この地で幸せを共に分かち合う」を基本理念とし、以下の事業方針を掲げる。 ① 利用者様の気持ちに寄り添い、優しい心で向きあう。 ② 利用者様の望む暮らしが実現できるよう、環境の調和に努める。 ③ 利用者様が気兼ねなく過ごせるよう、柔軟な態度で接する。	運営推進会議では利用者様・ご家族、地域等と意見交換が出来た事で交流を図ることが出来た。岩手県の新型コロナウイルス感染症拡大により、行事・レク・地域活動等は思うように活動できなかったが、出来る限りの行事や他者との交流が図れるように工夫し利用者一人ひとりに寄り添った支援が出来た。

#### (1) 利用者確保への取り組み

利用登録定員29名の維持確保に取り組んだ結果、月平均28.5人の実績を得た。

登録：29名（定員）

	延べ利用者数			登録者数
	【宿泊】 最大定員数9名まで	【通い】 最大定員数18名まで	【訪問】(回数)	
要支援1		150		1.7
要支援2	242	168		1.2
要介護1	270	819	834	5.6
要介護2	352	1,370	10,297	9.5
要介護3	524	1,351	6,025	5.8
要介護4	773	1,322	1,038	3.5
要介護5	191	294	687	1.2
計	2,352	5,474	18,881	28.5

#### 登録の状況者の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
新規	3	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2	1	0.8
終了	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	3	0	0.6
平均介護度	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.3	2.1	2.4

出身地別内訳（令和5年3月末現在）

【県内】計 29人 滝沢市 29人、

## (2) 提供サービス充実への取り組み

利用者様お一人お一人の生きがいとなることや役割を担えるものを見つけ、ご本人にご自身の存在価値を感じていただくよう取り組んでいる。自宅でも、訪問サービスの中で日々の生活の中に「自分が任されている」という役割をもつことで、日々の生活においてもやりがいや張り合いを生み出すよう支援に努めている。

### 【年間行事】

月	行事名	行事内容
4月	お花見（ピクニック）	桜の開花に合わせて近所の公園散策をしました。
5月	日光浴を楽しむ会	4階の展望テラスにて外の天気・季節を感じていただきました。
6月	チャグチャグ馬っこ	滝沢市の伝統行事を沿道から見学しました。
	リズム体操を楽しむ会	音楽に合わせてリズム体操・ゲームを楽しみました。
7月	ミニ七夕会	季節を感じ、昔を思い出して頂きました。
	かき氷・釣りゲーム大会	夏の暑さを通じ、季節を感じて頂き、楽しみました。
8月	夕涼み会	縁日の雰囲気を楽しんで頂きました。
9月	長寿を祝う会	利用者の健康長寿を願い、お祝いをしました。
	秋のミニ運動会	体を動かしてリフレッシュし、他者との交流を図りました。
11月	風船バレー大会	レクを通じて他の利用者様との交流を図りました。
12月	クリスマス会	他者と交流を図り、楽しんでいただきました。
1月	ビンゴ大会	ゲーム後に、甘酒を飲みながら歌をうたう等し、他者との交流を図りました。
2月	節分祭	行事を通して、他者との交流を深め気分転換を図って頂きました。
3月	ひな祭り	行事を通して季節感を感じてもらい、ゲームなども取り入れて楽しんでいただきました。

- ・誕生会は写真付き色紙のプレゼントが好評でした。利用者・職員でお祝いをしました。
  - ・バスハイク（不定期）：車を使用するの行事は密になり感染リスクが高まるので、中止しました。
- 総括：県内の新型コロナウイルス感染症拡大の為、人数制限や内容を変更するなど状況に応じ実施しました。

### 【地域との交流促進】

実施月	団体名	内容(実績)
5月・6月 11月	ココしゃきクラブ	ココロからダンス及びリハビリ機器を活用した機能訓練を実施しました。
6月 11月	べっぴんクラブ	紙芝居及び読み聞かせ会を実施しました。

\*その他、下記については定期開催：新型コロナウイルス感染症防止の為、地域活動を制限しました。

- ・ 5、7、9、11、1、3月…運営推進会議（2カ月に1回開催しました。）
- ・ 9、3月…第三者委員会（半期に1回開催：文書にて情報提供しました。）
- ・ 毎月第1・3月曜日…滝沢ニュータウン1工区地域サロン（毎月開催）
- ・ 毎月第2木曜日…読み聞かせボランティア（毎月開催）
- ・ 毎月第3水曜日…手芸ボランティア（毎月開催）

\*休止中です\*

### (3) 研修報告

#### 【施設内研修】

実施月	研修名	参加人数
5月	倫理・法令順守・事業運営に関する事	12名
6月	倫理・法令順守・事業運営に関する事	6名
7月	身体拘束・高齢者虐待防止	12名
	おむつの当て方（外部講師）	10名
8月	プライバシー保護の取組みについて	10名
10月	緊急時の対応について	16名
	事故の発生・予防・再発防止について	13名
11月	感染症（ノロ対策・インフルエンザ対策）について	13名
	職場におけるハラスメント対策について	2名
1月	介護・福祉接遇マナー	13名
2月	認知症ケア	13名
3月	非常災害時対応研修	13名

#### 【施設外研修】

実施月	研修内容	主催者	参加人数
4月	地域ネットワーク会議	滝沢市地域包括支援センター	2名
6月	リスクマネジメント研修（基礎編）	岩手県社会福祉事業団	1名
	虐待防止研修（基礎編）	岩手県社会福祉事業団	1名
	覚えるマナーから考えるマナーへ	岩手県社会福祉事業団	1名
7月	自分も相手も大切に作るアサーティブコミュニケーション（多職種連携）	介護労働安全センター岩手支部	1名
8月	介護労働者の労務管理	介護労働安全センター岩手支部	1名
	労働保険・社会保険の適用	介護労働安全センター岩手支部	1名
	カウンセリング研修（コーチング①）	岩手県産業保健総合支援センター	1名
9月	カウンセリング研修（コーチング②）	岩手県産業保健総合支援センター	1名
	カウンセリング研修（アサーション①）	岩手県産業保健総合支援センター	1名
10月	カウンセリング研修（アサーション②）	岩手県産業保健総合支援センター	1名
	OJT研修	岩手県社会福祉事業団	1名
11月	介護事業者セミナー2022	介護労働安全センター岩手支部	1名
2月	アンガーマネジメント資格取得研修	日本アンガーマネジメント協会	1名
3月	メンタル心理カウンセラー研修（安全衛生）	日本能力開発推進協会	1名
	介護予防運動指導員更新研修（腰痛予防）	東京都健康長寿医療センター研究室	1名

【身体拘束】：無し

【苦情報告】：無し

【事故報告】2件

内容	右上表皮剥離
発症・詳細	9月15日17時過ぎ、デイ利用後に帰宅する為にカーディガンを着る際に職員が誤って腕を強く刺激してしまい表皮剥離された為、止血し帰宅。家族に説明。翌日、滝沢中央病院受診し処置施行。その後3回通院し完治。家族にお見舞金と医療費を事業所負担とした。現在もサービス利用中。(行政報告終了)

内容	左大腿部転子部骨折
発症・詳細	2月6日11時35分、昼食の為、居室訪問の際に、ベッド上で左大腿部痛の訴えあり、(洗面台からベッドに移動の際に転倒する。普段は歩行器使用中の方であったが使用しなかった事が原因と思われる)盛岡医療センターへ搬送。今後は手術施行し機能訓練し歩行が可能になったら再度おはなのサービス利用をしたいとの意向を受ける。特段、苦情もなく今後も相談・支援する事で一旦サービス登録解除となる(行政報告終了)

【第2種社会福祉事業】

・松実会指定訪問介護事業所

【事業目標】

事業目標	事業方針	評価
利用者様が、可能な限り自宅において自立した日常生活を継続できるよう、訪問介護サービス・生活総合事業の訪問介護型サービスでの支援を図り、必要とされる事業所を目指す。	<p>① 介護計画に沿った支援を行う中で、利用者様及びご家族の心身の状態変化がみられる場合は、サービスに関わる介護支援専門員をはじめ、各サービス担当者と連携を図り、介護計画見直しの検討を行う。</p> <p>② 内外の研修等を通じ、専門知識・技術の研鑽に努めサービス提供にあたる。</p> <p>③ 利用者様の意見や苦情等を真摯に受け止め、サービスの改善に努める。</p>	<p>① 新型コロナウイルス感染症関連での変更等がありましたが、迅速に情報提供をすることで、介護計画の見直しもスムーズにすることが出来ました。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症の影響で計画通りに研修会の開催・参加等は出来ませんでした。資料研修やZOOM視聴などで自己研鑽し専門的知識の習得や技術の向上に努めました。</p> <p>③ 利用者や家族からの相談・意見等に迅速に対応をする事でサービスの改善に努めました。</p>

	④ 利用者様の心身の機能、環境状況等を把握し、利用者様の所在する市町村、地域包括センター、他の居宅サービス事業者、保健医療サービスおよび福祉サービスを提供する者との連携に努める。	④ 常に利用者の状態変化を把握し記録にも残すと共に関係機関と情報の共有を図り連携に努めました。
--	---	---

**(1) 訪問介護目標への取り組み**

目標達成に向けて取り組んだが、身体介護サービス利用者の施設入所及び入院などが多く、目標には届かない結果となる。全体のサービスに占める割合は収益の高い身体介護サービスが42%で収益性のない生活支援及び総合サービスが56%であった。

今後は事業継続と収益性を高めるために身体介護サービスと生活支援サービスの比率を近づけるようにサービス提供していく必要がある。

期中実績 期中1ヵ月平均利用者訪問実人数 … 39.0人/月（前年度実績 42.0人/月）

利用状況 訪問介護事業

介護・総合事業サービス内訳（件）

要介護		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
身体	20分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20分以上 ～ 30分未満	0	0	0	0	0	0	0	18	17	18	18	18	89
	30分以上 ～ 1時間未満	112	115	118	125	129	115	111	89	92	96	74	87	1263
	1時間以上	8	5	9	16	14	13	14	14	15	9	8	10	135
	生活	20分以上 ～ 45分未満	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	45分以上	112	117	120	122	119	119	126	124	125	116	108	120	1428

※身体 42% 生活 40%

要介護		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
身体生活	20分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20分以上～ 30分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30分以上～ 1時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間以上	8	8	8	7	8	8	6	4	4	0	0	0	61

※身体生活 2%

要支援	訪問型サービス費						短時間
	I(週1回程度)	II(週2回程度)	III(週2回を超える程度)	IV(月4回まで)	V(月5～8回程度)	VI(月9～12回)	
延べ利用者数	18	33	15	65	28	9	0
延べ利用回数	18	33	15	196	216	105	0

※総合 16% 延べ利用者 168人 延べ回数 583回

**(2) 活動の基本方針**

目標達成に向けて次の方針に基づき活動した。

- ① 介護サービスの提供に当たっては、懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者様、ご家族にサービスの提供方法等について理解を得られるよう説明を行う。
- ② 介護支援専門員に対して利用者様の状況等の情報を提供する。
- ③ 事業所内でも年間を通して研修を行い、介護技術の向上を図る。
- ④ 地域内及び近隣市町村の訪問介護事業者及び居宅介護支援事業者との連絡、交流を緊密に図る。

### (3) 研修報告

#### ①訪問事業所内全体研修

実施月	研修名	参加人数
4月	福祉職員接遇マナー	5名
5月	個人情報・プライバシー保護	5名
6月	倫理・法令順守について	5名
7月	クレーム・苦情対応について	5名
8月	熱中症と食中毒予防について	5名
9月	災害対策について	5名
10月	緊急時の対応につて	5名
11月	低栄養予防について「利用者の栄養と健康を考える」	5名
12月	認知症ケアについて	5名
1月	事故再発防止について	5名
2月	利用者の生活暦を知る	5名
3月	虐待防止について	5名

#### ②訪問事業所内個人研修

グループ区分	研修期間	研修課題	参加人数
グループE	11/1～1/31	介護手順マニュアル作成	1名
グループA	8/1～10/31	サービス提供責任者の責務とマニュアル作成	1名
グループB	7/1～9/30	介護計画書作成	1名
グループC	11/1～12/31	介護手順作成	2名

#### ③施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
2月	介護現場におけるリーダーシップと人材マネジメント、待ったなし、BCP（事業継続計画） （サービス提供責任者 松浦）	株式会社医療経営研究所	1名
3月	介護人材の定着率向上・離職防止の実践 介護事業所の魅力ある職場づくり （サービス提供責任者 松浦）	株式会社医療経営研究所	1名
	ケアプランデータ連携システム 認知症ケア 個人情報とプライバシー保護 職業倫理と法令順守 （サービス提供責任者 松浦）	株式会社サンメディカル	1名

【苦情】：無し

【事故報告】：無し

## 【公益事業】

### ・住宅型有料老人ホームピースフル滝沢事業

#### 【事業目標に対しての評価】

事業目標	事業方針	評価
自立を尊重した関わりを大切にし、入居者様自らができることは自身でおこなってもらう等、自己選択の機会を増やすことで生活の彩りを豊かにしていくことを目指す。	<p>① 年間を通して季節感のある行事やレクリエーション等を提供し、日常生活の中に楽しみや生きがいを持って頂けるように努める。</p> <p>② 入居者様が可能な限りその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むために必要な環境づくりに努める。</p>	<p>① 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、施設外の行事参加は計画通りにはいきませんでした。参加人数を減らすなどし、出来る範囲で楽しんでいただけるように努めました。また、倶楽部活動を実施できるように努めました。</p> <p>② 入居者様の状態に合わせ、福祉用具を活用すると共に、食堂内の座席の見直しをするなどし、安全面に配慮した環境づくりに努めました。</p>

#### (1) 入居者の確保への取り組み

入居定員数18名の維持確保に取り組んだ結果、月平均18.0名の実績を得ました。

#### 入居者の推移 (各月初め入居者数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
男	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	9	8.8
女	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10	9	9.3
計	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
内、入院者	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0.3

出身地別内訳(令和5年3月末現在)計:18名

【県内】計18人 盛岡市1人、滝沢市14人、陸前高田市1人、岩手町1人、遠野市1人

【県外】計0人

#### (2) 入居者の要支援・要介護の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
未認定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	60	62	60	62	62	60	62	60	31	31	28	31	50.8
要支援2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30.4
要介護1	90	93	90	93	93	90	93	90	124	136	140	155	107.3
要介護2	270	279	240	248	248	240	248	266	279	279	264	279	261.7
要介護3	90	93	120	124	124	120	105	90	62	62	44	31	88.8

要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	31	19	0	0	4.2
計	540	558	540	558	558	540	539	536	558	558	504	558	543
平均介護度	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6	1.5	1.7

### (3) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居計	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	4
退居計	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	4
備考	(退居内訳)						(平均年齢)						
	死亡		0		0	86.4歳							
	長期入院		0		0	※男女別	男	85.6歳					
	他施設	男	2	女	2		女	87.1歳					
	家庭復帰		0		0	(入所待機者)							
	その他		0		0	0人							
	合計		2人		2人								

### (4) 提供サービス充実への取り組み

基本方針の「入居者様がホームでの暮らしに『いきがい』『やすらぎ』『よろこび』を感じ、安心・安全な日常生活を送っていただけるよう、①健康管理、②食事の提供、③娯楽・行事④苦情・生活相談を意識して取り組みました。

具体的には、

#### ① 健康管理

- 体重及び血圧等の測定
- 健康相談
- 協力病院及び近隣医療機関への送迎、付添
- 健康診断の推奨

#### ② 食事の提供

- 食事に関するアンケート調査
- 食事時間に合わせて調味料をテーブルに置く

#### ③ 娯楽・行事

- 近隣のスーパーマーケット等へのショッピング
- 倶楽部活動（縁繋倶楽部・健幸倶楽部・茶道倶楽部）

#### ④ 苦情・生活相談

- 意見箱の設置
- 運営懇談会の開催
- 居室訪問、外出時等を利用したの困りごと等の聞き取り（随時）
- 滝沢市介護相談員派遣事業の受入

を実施し、新型コロナ禍でも、感染予防に努めながらできる限りのサービス内容の充実に取り組みました。

### (年間行事)

実施月	行事名	内 容
4月	健幸倶楽部「シャキッと！」	ラジオ体操、TV体操を行った運動に取り組みました。
	茶道倶楽部「まっちゃ」	桜もちづくりを楽しみながら、抹茶を頂きました。
	お花見ドライブ	3班に分かれて、四十四ダム、高松の池、柳沢～姥屋敷

		方面へお花見に出かけました。
5月	健幸倶楽部「シャキッと！」	ラジオ体操、TV体操を行った運動に取り組みました。
	茶道倶楽部「まっちゃん」	抹茶を立てながら、どら焼き作りを行いました。
	縁繋倶楽部「たね」	二十日大根やシソの種を植えて、土いじりを楽しみました。
6月	健幸倶楽部「シャキッと！」	椅子に座った状態での軽体操を中心に、身体を動かし、軽く汗を流しました。
	チャグチャグ馬コふれあいまつり IN 滝沢	感染対策に努めながらビッグルーフ滝沢で行われたイベントに参加しました。屋台のアイスクリームを食べたり、地元の神楽踊りを見学しました。チャグチャグ馬コと写真撮影をするなど楽しみました。
	ショッピング	近隣のホームセンターとスーパーへ出かけ、自由に買い物を楽しみました。
	「シャキッと！」&「たね」	体操を行った後に、プランター畑の手入れを行いました。
	手芸	手芸が得意な入居者様同士で、ぞうきん作りを通し、交流を深めました。
	七夕飾り作り	七夕飾りを作り短冊に願い事をするなどし、季節感を味わいました。
	茶道倶楽部「まっちゃん」	役割分担し、ホットケーキ作りを楽しみました。
運営懇談会	前年度の実績報告、クラブ活動計画、食事に関するアンケート結果等の報告、新型コロナ関連の情報を共有させて頂きました。	
7月	健幸倶楽部「シャキッと！」	ラジオ体操で汗を流し、リンゴジュースで水分補給をしました。
	ショッピング①	衣料品店へ出かけ、夏物の衣類を購入しました。
	縁繋倶楽部「たね」	5月に植えた種が成長し、手入れを行いました。
	ショッピング②	近隣のスーパーで自由に買い物を楽しみました。ご家族も来られ、一緒に買い物を楽しむ姿も見受けられました。
	茶道倶楽部「まっちゃん」	うすやき作りを行い、なつかしの味を堪能しました。
8月	健幸倶楽部「シャキッと！」	外の空気を吸いながら、軽体操メニューをこなしました。
	夏祭り	感染予防と人数制限を行いながら、かき氷や射的などの模擬屋台などで楽しんで頂きました。
	茶道倶楽部まっちゃん	チョコバナナ作りを入居者様と行き、冷茶と一緒に、話も弾み他者との交流を楽しみました。
9月	長寿を祝う会	コロナ禍の影響で規模を縮小したものの、ささやかながらお祝いさせて頂きました。
	茶道倶楽部「まっちゃん」	コーヒーゼリーに思いおもいの飾り付けをして、他者との交流を図りながら美味しく頂きました。
	健幸倶楽部「シャキッと！」	全身運動を行い、水分補給をしながら談笑も楽しみました。

10月	「たね」 & 「まっちゃん」	午前中にプランターで育てたサツマイモを収穫し、午後サツマイモを使った茶巾しぼり作りを行い、収穫する喜びを感じました。
	紅葉狩りドライブ	玄武洞方面へ紅葉狩りドライブを計画していましたが、新型コロナの感染拡大の為、中止としました。
	健幸倶楽部「シャキッと！」	感染対策を意識し、TV体操を行いました。
11月	茶道倶楽部「まっちゃん」	お茶を飲みながら、プランターで育てたジャガイモを使い、ピザじゃが作りを行いました。
	運営懇談会	新型コロナ、インフルエンザ予防接種の情報と、スライドを用いて行事活動のご様子をご覧になって頂きました。
12月	茶道倶楽部「まっちゃん」 & クリスマス会	デコレーションを楽しみながら、クリスマスケーキ作りを行い、抽選会ではもれなくクリスマスプレゼントをお届けする事が出来ました。
1月	新年茶道倶楽部「まっちゃん」	栗きんとん風の茶巾と甘酒のおふるまいを行い、お正月気分を味わいました。
2月	茶道倶楽部「まっちゃん」	入居者のリクエストで、干し柿なます作りを行いました。味付けもご入居者様が行い、昼食時に提供させて頂きました。
3月	茶道倶楽部「まっちゃん」	紅白白玉団子を作り、ぜんざい風に仕上げました。おひな様の時期にふさわしい行事となりました。
	運営懇談会（臨時）	物価高騰により、食費の値上げに関するお知らせ等行わせて頂きました。

### (5) 地域との交流促進

実施月	団体名	内 容
5月・6月	ココロからしゃっきり倶楽部	地域サロンへ参加し、体操等を通じ、運動不足解消に努めた。
10月	滝沢ニュータウン町内会	防災避難訓練への参加。

### (6) 研修報告

#### 【施設内研修】

実施月	研修名	参加人数
4月	高齢者虐待防止のための介護職のマナー向上について	4名
	介護現場のリスクマネジメントについて	1名
12月	身体拘束・高齢者虐待防止研修会 感染防止対策・事故防止対策研修会	4名

#### 【施設外研修】

実施月	研修名	主催者	参加人数
4月	滝沢市地域ネットワーク会議	滝沢市包括支援センター	2名
7月	福祉サービスの苦情を考えるセミナー	岩手県福祉サービス運営適正化委員会	1名
	「自分も相手も大切に作るアサーションコミュニケーション」	介護労働安定センター岩手支部	1名

10月	滝沢市地域ネットワーク会議	滝沢市域包括支援センター	1名
12月	岩手八幡平地域福祉サービス苦情解決情報交流会	岩手県福祉サービス運営適正化委員会	1名
	認知症介護基礎研修 eラーニング	公益財団法人いきいき岩手支援財団	1名
1月	あんしんサポート相談員養成研修	社会福祉法人岩手県社会福祉協議会	1名
3月	「ケアプランデータ連携システム」 「認知症ケア」 「個人情報保護法とプライバシー保護」 「職業倫理と法令遵守」	株式会社 サンメディカル	1名

【事故報告】：無し

【身体拘束】：無し

【苦情】：無し

## 【収 益 事 業】

### ○賃貸経営

#### 1.基本方針

この事業から生じた収益は、この法人の行う社会福祉事業に充てるものとする。

#### 2.事業の取り組み

令和4年度は、収益の1,200,000円を社会福祉事業へ繰入を行った

## 【法人福祉サービスに関する苦情解決事業】

1. 苦情相談の受付状況					
年度	R4	R3	R2		
苦情相談	2	2	1		
延件数	2	2	1		
コメント：					
2. 苦情相談の内容（令和3年度受付分）					
	実件数（件）	割合（％）	解決済み	検討中	備考
職員の接遇	2	100	2		
サービスの質や量					
説明・情報提供					
利用料					
被害・損害					
権利侵害					
その他					
計	2	100			
コメント：					
<p>繫松苑：2件の苦情があった。1件は送迎で自宅にお伺いした職員に対し、ご家族より「①初対面なのに挨拶がない②大声でプライバシーに関わる話をされ今後利用してほしくないように聞こえた」というものだった。もう1件は、利用者ご本人から「①特定の職員の口調がきつく不快②居室掃除が不十分③何度か衣類が畳まれていない状態でカバンに入っていた」というものだった。</p>					
3. 苦情相談の対応					
	実件数（件）	割合（％）			
傾聴のみ	1	50			
申出人への助言					
専門機関・関係機関の紹介					
当事者間の話し合い解決推奨	1	50			
苦情通知					
事情調査					
その他					
計	2	100			
コメント（繫松苑）：1件目については生活相談員が自宅へ訪問し謝罪する。ご家族からは挨拶の徹底とプライバシーへの配慮を求められる。2件目については管理者から職員に確認後、利用者様に対し管理者と職員とで謝罪する。ご本人からは引き続きサービス利用したい旨話をいただく。					
4. 事業所別					
事業所名	件数（件）	割合（％）	R3年度（件）	R2年度（件）	
ケアハウス栄子					
介護付ケアハウス栄子					
松実会居宅介護支援事業所					
訪問介護事業所					
通所介護事業所					
麗峰苑					

麗峰苑居宅介護支援事業所				
麗峰苑短期入所事業所				
繫松苑			2	1
繫松苑短期入所事業所	2	100		
小規模多機能型おはな				
住宅型有料ピースフル滝沢				
計	2		2	1

コメント：今年度も昨年度と同じ苦情件数であった。昨年度は面会制限のあるなかで施設からの説明・情報提供不足による苦情であったが、少しずつご家族の方が面会や施設への訪問回数が多くなってくると直接職員とのやり取りの機会が多くなることで今後も接遇に対する厳しい指摘などが増えてくると考えられる。より、緊張感を持ちご家族を含めての接遇に注意する必要がある。

### Ⅲ. 職員数内訳

令和5年3月31日現在の職員数は次のとおりである。

事業所名	職員数 (人)	再掲	再掲	男女内訳	
		臨時 (人)	パート (人)		
ケアハウス	7	2	0	男 3 名	女 4 名
介護付ケアハウス	15	3	1	男 4 名	女 11 名
松実会地域包括支援センター	6	0	1	男 1 名	女 5 名
松実会居宅	5	0	0	男 0 名	女 5 名
通所介護	6	0	2	男 2 名	女 4 名
麗峰苑	60	3	11	男 16 名	女 44 名
麗峰苑居宅	1	0	0	男 1 名	女 0 名
繫松苑	71	5	9	男 26 名	女 45 名
繫松苑短期	7	0	0	男 0 名	女 7 名
小規模多機能おはな	16	0	5	男 3 名	女 13 名
住宅型ピースフル	10	2	4	男 2 名	女 8 名
訪問介護	5	0	2	男 0 名	女 5 名
法人本部	5	0	1	男 3 名	女 2 名
計	214	15	35	男 61 名	女 153 名
前年比 (増減)	221 (-7)	20 (-5)	38 (-3)	男 58 名 (+3名)	女 163 名 (-10名)

#### IV. 役員会等の承認事項

理事会及び評議員会で承認を得た事項は、次のとおりである。

##### (理事会)

開催年月日	議 案
R4.5.27	報告第1号 理事長の職務執行状況について 報告第2号 専務理事の職務執行状況について 報告第3号 松実会複合型福祉施設の渡り廊下解体工事について 議案第1号 令和3年度事業報告の認定について 議案第2号 令和3年度決算の認定について 監査報告 議案第3号 定時評議員会開催（案）について 議案第4号 令和4年度資金収支予算第1次補正（案）について
R4.9.21	報告第1号 理事長の職務執行状況について 報告第2号 専務理事の職務執行状況について 報告第3号 令和4年度第1四半期事業報告について 議案第1号 令和4年度資金収支予算第2次補正（案）について 議案第2号 諸規程の改訂（案）について 議案第3号 苦情解決事業第三者委員の選任（案）について 議案第4号 評議員選任・解任委員会委員の選任（案）について
R4.12.20	報告第1号 理事長の職務執行状況について 報告第2号 専務理事の職務執行状況について 報告第3号 令和4年度第2四半期事業報告について
R5.3.24	報告第1号 理事長の職務執行状況について 報告第2号 専務理事の職務執行状況について 報告第3号 令和4年度第3四半期事業報告について 議案第1号 令和4年度資金収支予算第3次補正（案）について 議案第2号 令和5年度事業計画（案）について 議案第3号 令和5年度資金収支予算（案）について 議案第4号 定款の変更（案）について 議案第5号 管理者の選任（案）について 議案第6号 会社役員損害賠償責任保険の更新（案）について 議案第7号 臨時評議員会決議の省略（案）について

##### (評議員会)

開催年月日	議 案
R4.6.16	報告第1号 令和3年度事業報告について 議案第1号 令和3年度決算の認定について